

モグリンニュース

第11号(2006年3月)

<一年間おつかれさまでした>

早いものでもう3月。モグリンニュースの発行から一年を迎えます。

今年度の古代生活研修会は“ものづくり”を中心に実施してきましたが、来年度は遺跡めぐりや展示発表など、幅広い活動を目指して頑張っていきましょう！

<2月の古代生活研修会について>

今回は麻布のコースター作りと、講師に染色家の岩西裕実子さんを迎えて「古代の色を染める～草木染め～」を行いました。

まずは麻布でコースターを織りました。縦糸を上糸と下糸に分け、横糸を交互に間に通すという作業を繰り返していくのですが、均等の力で布を織るのは意外に難しく、それぞれ個性的な仕上がりとなりました。



さあ、いよいよ染色です。染料は岩西さんに用意していただいた「茜」と「たまねぎ」に加え、



中村さんが持ってきてくださったウニの殻も試してみることにしました。茜はセイヨウアカネの根を、たまねぎは茶色い薄皮を、ウニは殻を煮出すことによって、それぞれ赤・黄・紫の色の液を採りだすことができました。

この中にコースターのほか、みなさんが持ち寄っ

た白いハンカチや布をつけていきましたが、つけておくだけでは、むらになってしまうので、休



みも交代でとりながら混ぜ続けました。

続いて、これらの色を布に定着させるために、鉄とアルミをそれぞれ溶かした媒染液を用意しました。

もとは同じ染色液でも媒染液の種類によって違う反応が起こり、アルミは明るめに、鉄は渋めに仕上がる傾向があるようです。

時間があれば、何度も染色液に浸すことで濃く染めることができるそうなので、興味のある方はチャレンジしてみてください。

ところで、ウニの結果ですが...残念ながらシルク以外の布への定着は悪く、綿はほとんど染まりませんでした。シルクはきれいな紫になったのですが、色落ちがちょっと心配です。シルクをウニで染められた方は、どのくらいの期間色がついていたか...また教えてください。長期間定着していればいいですね。



こんなに鮮やかにできました！

草木染めに興味をもたれた方は、岩西さんオススメの本を紹介しますので、ぜひ参考にしてみてください。

「母と子の草木染ノート 母と子のシリーズ」 山崎青樹(著) 美術出版社 1991.9
価格 1,995 円

「草木染 染料植物図鑑(正)」 山崎青樹(著) 美術出版社 1985.10
価格 3,045 円

「色の歴史手帖 - 日本の伝統色十二ヵ月」 吉岡幸雄(著) P H P 研究所 1995.12
価格 3,465 円

コンパクト版(価格 1050 円)も出版されています。

<新しい仲間ができました>

1月の古代生活研修会「まが玉づくり」と2月の「草木染め」に参加された石倉統津彦さんが、このたびボランティアに登録してくださいました。みなさんの周りでも興味のある方がいらっしゃいましたら、お気軽に声をおかけください！

<3月の古代生活研修会は...>

3月18日(土)の午後1時から4時まで、「ボランティア学芸員募集!」と題し、今後みなさんと一緒に活動していただくボランティアの方を集めて講習会を行います。

講習会では、文化財課の紹介や現在のボランティア活動の案内に加え、出張授業の依頼が多い土器づくりを行います。



そのほか、現場から発掘された本物の出土遺物を見てもらったり、遺物の取り扱い方や梱包の



実習など、これまでの研修会では行っていないことも予定していますので、みなさんも先輩ボランティアとして、ぜひご参加ください。

参加可能な方は、お手数ですが電話またはメールでご連絡ください。お待ちしております!!



今年度の活動のようす



また、午前10時ぐらいから、まが玉の鋳型を焼く予定です。お時間のある方は、一緒にリベンジしましょう!

<4月からの活動について>

4月に入ると、小学校から“土器作り”などの指導依頼が増え始めます。これまでの古代生活研修会を通じてみなさんが修得した技を、次は子どもたちや地域の方々に伝えていただければと思います。



また、5月5日こどもの日には、昨年につき、安佐動物公園で“鹿角ストラップづくり”を行います。



先着 1,000 人無料！で実施する予定です。都合のつく方はぜひご参加ください！！



連絡先 小林・稲坂・田原 まで

0 8 2 - 5 6 8 - 6 5 1 1 FAX 0 8 2 - 5 6 8 - 6 5 1 3

小林 n-kobaya@mogurin.or.jp 稲坂 ina@mogurin.or.jp 田原 tahara@mogurin.or.jp

文化財課ホームページ <http://www.mogurin.or.jp>

